　褥瘡予防研究会は介護老人福祉施設部会、居宅介護支援部会、福祉用具部会の部会長とコアスタッフで構成され、朝倉圏内の「褥瘡ゼロ」を目指し、事業者協議会の会員方の連携強化、褥瘡予防に関する知識・技術のスキルアップを図り、地域の利用者への還元に寄与する事を目的に、褥瘡予防に関する研修会等を実施してきました。

しかし、この2年間は新型コロナウイルス感染症の影響により研修会を開催する事ができず、研究会のメンバーで模索しながら活動しています。

2020年度には、地域の施設や介護支援専門員の方々にアンケート等を実施しました。アンケート結果からは研修会を開催するだけでは、「褥瘡予防」を目指した活動に至っていないという現状を認識いたしました。

今年度は、医師会の在宅医療連携拠点事業と連携し、アセスメントやモニタリング時に使用できる統一の「褥瘡(床ずれ)評価シート」作りに取り組んでいます。現場で活用しやすいように何度も話し合いや手直しを繰り返し研究会のメンバーや専門職の意見を取り入れて作成しています。今年度中には完成させ皆さんに活用していただけるように頑張っています。完成しましたら協議会のHPに様式を上げてもらいたいと考えています。今後とも褥瘡予防研究会への活動にご協力のほどよろしくお願いいたします。

　　　　褥瘡予防研究会　梅木ゆかり